

区立公園のサクラ再生実行計画(案)を作成しました

区立公園のサクラ再生実行計画(案)

目黒区には、73の区立公園があります。本実行計画は、個別にサクラ再生実行計画を作成している駒場野公園(令和3年3月作成)と碑文谷公園(令和5年3月作成予定)を除き、今桜のない公園も含めた71公園のサクラ再生実行計画です。今桜のない公園は、基本方針と立地ごとの将来像を踏まえ、公園の改修等の機会をとらえて、地域の皆様のご意見をうかがいながら新植の場所と品種を検討します。

区立公園のサクラ再生実行計画 基本方針

<将来像>

春の高揚感を感じられる、健全で見ごたえのある桜を将来に引き継ぐ

●サクラ再生の三本柱

- 保全：今ある桜が健全に生育できるように環境を整備・維持します
- 再生：衰退が著しい桜は植替えを行い、桜が満開の風景を再生します
- 充実：生育環境に留意しながら補植を行い桜の充実を図ります

●サクラ再生の3つのアプローチ

- 安全：定期的な巡回や樹木診断等を実施し、倒木や折損事故を予防します
- 快適：維持管理や生育環境の改善を通じ、枯れ枝の撤去や根上り*の予防に努めます
- 調和：保全・再生・充実は公園の利用形態や周辺地域との調和を図りながら実施します

*根上り: 太い根が地表に露出すること、利用者がつまづく原因となる

●将来像のイメージ



芝生・野草広場と外周に桜のある公園

区立公園の桜は、春の到来を感じることができる身近な花見の場として、また公園のシンボルとして、地域や住民の方々に親しまれています。こうした桜のある景観を将来に引き継ぐことを目標に、今年度、地域の皆様と樹木医の意見を反映した、区立公園のサクラ再生実行計画を作成します。これまでの樹木の健全度調査結果に加え、今回、桜の生育環境を調査し、公園内の立地ごとに分析や考察を行ったうえで検討した、区立公園のサクラ再生実行計画(案)をご提案いたします。

本実行計画(案)について、皆様のご意見をうかがいたく、**令和5年3月1日(水曜日)まで**意見を募集いたします。お寄せいただいたご意見を踏まえ、3月に区立公園サクラ再生実行計画を作成します。

【ご意見の送付先】 目黒区都市整備部みどり土木政策課施設計画係
電話:03-5722-9745/FAX:03-3792-2112/メール:midoridoboku04@city.meguro.tokyo.jp

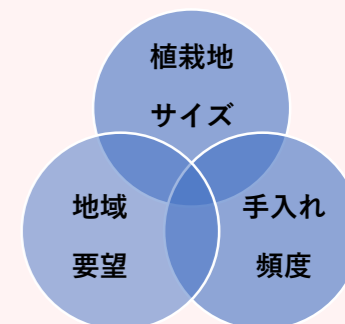
●植替えの考え方

今ある桜は基本方針に基づき、環境を改善しながら保全していきます。しかし中には、衰退が著しい桜もあり、こうした桜は植替えが必要になります。

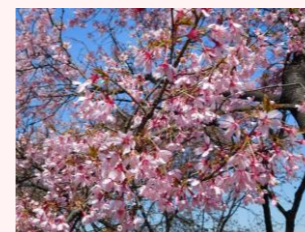
品種の選び方

桜は日陰や根の踏み固めに弱いので、健全で美しい桜を維持するには、植栽地のサイズにあった品種選びが重要です。空間に余裕のある場所にはソメイヨシノのように大きくなる品種も植えられますが、狭い場所では中型や小型の品種も検討します。狭い場所に大型の桜を植えることも可能ですが、健全で美しい状態を保つには、庭園のような高頻度の手入れが必要になります。

実際の植替えは、上記の品種選びの基本に加え、これまで植栽されていた品種の雰囲気や、地域のご要望も踏まえて品種を選んでいきます。



●中型・小型の品種例



オカメ



タカサゴ



オモイガワ

「画像提供：公益財団法人日本花の会 ※画像の著作権は公益財団法人日本花の会に帰属します。無断転載を禁止します。」

調査結果

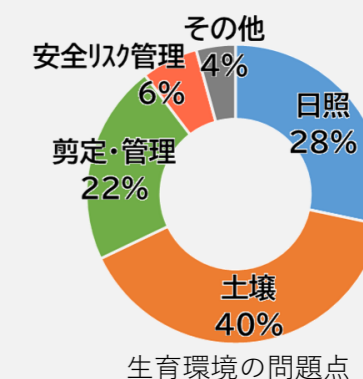
桜のある公園と桜の本数・立地数

- ・71公園中48公園に桜が植わっている
- ・102か所の立地に、計431本の桜が植わっている

立地	桜の本数(本)	立地数(か所)
外周	199	51
高木点在広場	59	15
芝生・野草広場	50	7
ベンチ等の緑陰	10	1
園内各地の修景	64	9
エリアの間仕切り	12	8
シンボル樹木	4	4
建物周辺	4	1
日本庭園	2	1
自然樹林内	27	5
合計	431	102

生育環境

- ・102か所中、7割以上にあたる78か所に生育環境の問題がある(3割の立地では既に桜の生育状態が悪い)
- ・桜が特に嫌う日照の悪さや土壌の問題を多く含む



■ 立地ごとの将来像

桜の生育は立地環境の影響を強く受けます。
将来像や維持管理の方針は公園内の立地ごとにお示します。

外周 199本 51か所
公園の外周部で道路や民家に隣接する立地

将来像

コンパクトな樹形に満開の桜

生育環境と問題点

道路の歩行・走行空間や民家へ伸びた太い枝を剪定したキズ痕が多くある。部分的な日照不足、土壌の固結、肥料分の不足など様々な問題がある立地。

環境改善と管理の方法

- 日照**・隣り合う樹木の枝葉を剪定する
 - ・近くに衰退した樹木があれば間引く
- 管理**・道路への越境を見越し、計画的・周期的に、こまめに剪定する、枝は公園内に伸ばす
 - ・太枝の剪定は適切な位置で行い、キズを癒合材で保護する
- 土壌**・エアレーションなどを行い土壌の通気性を高め根の再生を促す
 - ・肥料を与え、新たな枝葉の萌芽・再生を促す
- 植替**・植替えの際には、適切な日照と樹木間隔を確保する
 - ・中型～小型の品種の桜で植替える

高木点在広場 59本 15か所
遊びや運動を目的とした広場に桜などが点在

将来像

根が地表へ露出することを予防し、桜に優しく人も歩きやすい環境を整えます

生育環境と問題点

利用者の往来により土壌と桜の根が日常的に踏み固められ、肥料分も不足している。桜の根元を腐らすバッコウタケが発生している桜がある。日照や空間の狭さの問題は少ない。

環境改善と管理の方法

- 土壌**・根が地表に露出する前に定期的なエアレーションなどを行い土壌の通気性を高め、根の再生と地中深くへ根張りを促す
 - ・肥料を与え、新たな枝葉の萌芽・再生を促す
 - ・公園利用と両立可能であれば、根の周りを柵や草花で囲む

自然樹林内 27本 5か所
雑木林や自然林の中の桜

将来像

日照を改善し今ある桜と他の樹木との共存を目指します

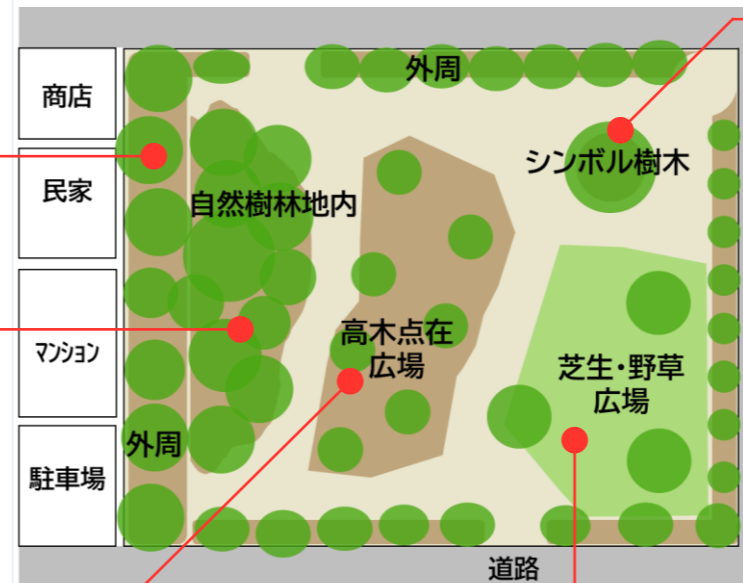
生育環境と問題点

生育不良の割合が比較的高い。桜は他の高木に囲まれ樹木間隔も狭いため、日照不足により枯れ下った桜が多い。土壌は比較的健全。

環境改善と管理の方法

- 日照**・隣り合う樹木の枝葉を剪定する
 - ・近くに衰退した樹木があれば間引く
 - ・比較的健全で若い桜は適地へ移植する
- 管理**・伸び過ぎた桜の枝は太る前に剪定する
 - ・太枝の剪定は適切な位置で行い、キズを癒合材で保護する
- 植替**・植替えは、他の立地や樹林の外周を検討する

区立公園の模式図



シンボル樹木 4本 4か所
公園の象徴や地区に古くから残る桜

将来像

手厚い保全により、シンボルに相応しい見ごたえのある桜

生育環境と問題点

生育不良の割合が高い。長年生育する古木には、枯枝や腐った太い枝を剪定したキズ痕が多く、幹や根元には木を腐らすバッコウタケなどのキノコも発生している。土壌が固結し肥料分も不足する。日当たりは良好。

環境改善と管理の方法

- 安全**・強度不足の桜は支柱やケーブルで倒木を防止する
- 土壌**・エアレーションなどを行い土壌の通気性を高め根の再生を促す
 - ・肥料を与え、新たな枝葉の萌芽・再生を促す
- 管理**・枯枝は、落下したり折れたりする可能性があるため、適宜剪定・切除する
 - ・太枝の剪定は適切な位置で行い、キズを癒合材で保護する

芝生・野草広場 50本 7か所
芝生などに覆われた広場に桜が点在

将来像

広い空間と芝生で根が守られていることを活かしたゆとりある樹形の桜

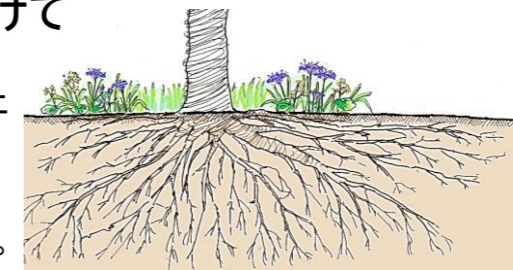
生育環境と問題点

やや日陰の場所もあるが桜の生育及び生育環境は比較的良好

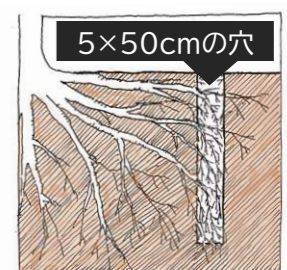


■ 桜の保護・保全に向けて

桜の根元への立ち入りの抑止
根や土を踏み固めから保護するため、柵を設置するほかに、右のように草花で囲む方法があります。



エアレーション
圧縮空気です穴をあけ土をほぐす方法



桜守活動

桜守(さくらもり)活動とは、地域の方が日常的に桜を見守り、保全していくボランティア活動のことです。桜景観を保全していくためには地域の皆様の参加が大きな力になります。桜守活動の体験会など、皆様が桜と関わる機会を増やし、将来的に桜守活動の発足を目指していきます。

◀ 桜守活動の例 ▶

- ① 桜の継続的な観察
- ② 施肥や水やり
- ③ 樹名板づくり
- ④ 清掃活動



花芽観察の様子

